

## ◎経営革新企業紹介

# 松田重機工業株式会社 松田 禮司郎 社長に聞く

### 建設現場で発生する 純自然木を 「堆肥チップ」に再資源化し、 農業分野に進出。



▲天然木 100%が原料の土壌改良材。悪臭発生や水質汚染など製造工程でも環境汚染の影響がない



▲松田禮司郎社長。「生活環境保全に基づいた事業展開で地域や時代に認められるような仕事をしたい」

#### 堆肥チップは、何に活用でき、有効ですか。

土壌改良材や緑化基盤材として活用できます。法面の緑化基盤材や造成地の土壌改良に使用すると、健全な植生が期待できます。畑の地力アップに有効で、無機塩類が少ないので施設園芸にも向いています。製粉メーカーのご協力をいただいて成分を分析し、葉たばこの畑に最適なものを100点とし、成分によって商品を点数化しています。このことで、果樹、水稲、葉物野菜など、それぞれにふさわしい点数のものが提供できるようになっており、ご購入いただいた後の施肥指導の体制も整えています。

#### 堆肥チップの製造事業は、農業分野への進出 としても注目を集めています。異業種に進出 することになったいきさつは。

平成7年にアメリカで、現地のリサイクル事情を見てまわりました。環境問題に関心をいだき、ある重機メーカーに働きかけて、その取引先である全国の20社の人たちと一緒に視察ツアーを企画したのです。東北で参加したのは私ひとりでした。現地ではさまざまなシステムが日本よりはるかに進んでいることに驚きましたが、特に衝撃を受けたのは広大な農地での、抜根の処理作業でした。カリフォルニアの果樹園は、数百十町歩という広さでした。そこでは30年ほど経った樹を伐採して、新しい木への世代交替が行われていたのですが、その際に発生する膨大な量の伐採木や伐根を、巨大な機械を使って粉砕していました。そのチップに化学肥料を混入して、日本に輸出していることも聞きました。今でこそ日本でも「ゼロエミッション」が盛んに叫ばれていますが、当時、日本ではまだまだ野焼きなども行われていました。私はアメリカ視察の経験から、日本でもいざれリサイクル事業が本格化する時代が到来するはずだと直感

#### 総合土木建設業として社業を発展させてきた 御社は、経営革新における新事業として、 堆肥チップの製造事業に取り組まれています。 堆肥チップとは、どういうものなのか。

山中の道路工事やダム建設の現場など、さまざまな現場で発生する伐採木や根、枝を細かくチップ状に破碎します。これに水と発酵促進材と熱を加え、堆肥化したものが堆肥チップです。原料はすべて自然木です。発酵促進材も契約先の製粉メーカーから提供される小麦由来の原料で、もともと生存する有用な微生物を活性化させるものなので、環境に優しい促進材です。家畜の糞尿や解体現場から出る木材などは一切混入しておらず、腐葉土と同等の、安全で安心の木質系の堆肥ということになります。



▲法面緑化工事。ネッコチップ工法を進化させ、製造した緑化基盤材を使用



▲木材破碎プラント。同機は東北に2台、全国でも11台しかない。松田重機では、その2台を所有。プラントは分解して現場に移設する

しました。翌8年には1台5,000万円を超える大型粉砕機も思い切って購入しました。周囲にはたいへん驚かれました(笑)。しかし、生活環境を守る事業は、社会に必ず必要とされるという強い信念がありました。

#### 御社には生活環境部があります。そこで取り 組んでこられたリサイクル事業の経緯は。

平成8年に産業廃棄物中間処理業の認可を受けて、産業廃棄物のリサイクルを本格的に開始しました。道路工事などの際に生じるアスファルトやコンクリートブロックを、大型クラッシャーにかけて碎石化し、それをふたたび現場で再利用するというものです。その後、工事現場で発生する伐採木や根などの木屑をなんとか再利用できないかと考え、平成11年に大手ゼネコンと契約し「ネッコチップ工法」を導入しました。これは大手ゼネコンが開発した特殊工法で、工事現場で発生した木屑を現場で粉砕し、残土と混ぜて法面に吹きつけるというもので、法面工事の緑化基盤材として有効です。そして現場で余った木屑のさらなる再利用として新たに考えたのが、冒頭でお話したとおり、平成17年から経営革新として取り組んだ堆肥チップの製造事業で、当社のリサイクル事業ではいま、コンクリートなどのリサイクルと、木屑のリサイクルの二つの柱を立てて、専務が先頭に立って事業を展開しております。

#### 農業分野での今後の展開は。

堆肥チップの製造は、まだ始まったばかりですが、とにかく品質のいいものをつくっていきたくと思っています。木屑で堆肥をつくっている会社は国内に何社かあるのですが、当社は純粋に木と水と麦のふすまだけ。自然の安心なものだけを使用することで差別化を図っていきたくと思っています。自然の腐葉土と同等というのが自慢です。いい堆肥ができれば、製粉メーカーの契約農家もご紹介いただけることになっていますし、品質のチェックも製粉メーカーが行ってくれる。この強みを生かして、良質の商品を提供していきたくと思っています。

#### 最後に社長の座右の銘は。

不言実行ですね。理論を勉強したりお話をたくさん聞いても、結果がすべて。物事を思いついたら、まず実行、行動に移してみる。結果がマイナスになることもあるし、予想以上のプラスになることもある。しかし、あれこれ目移りをして立ち止まっているのなら、まず行動する。だから、私の性格は単純です(笑)。自然や生活環境を守る事業は、絶対に日本でも必要になる。そこで高価な機械も一気に購入する決断をしたわけです。当社は今後も「生活環境保全」をテーマに、人間と環境の共存に貢献できる企業を目指していきたいと考えております。

## 企業紹介 DATA

### 松田重機工業株式会社

所在地 遠野市小友町 17-51-7  
電話 0198-68-2344  
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~matsujuu/>  
代表者 松田禮司郎  
従業員 20名  
事業内容 一般土木工事、法面工事、舗装工事、造園工事、産業廃棄物中間処理業、一般貨物自動車運送事業

沿革	
昭和42年 2月	創業(松田重機)
昭和49年 12月	建設業許可(土木・とび土工事業)
平成4年 7月	岩手環境保全株式会社設立
平成5年 6月	松田重機工業株式会社に名称変更
平成8年 2月	産業廃棄物中間処理業 許可
平成14年 10月	伐採木や残土を活用した緑化技術「ネッコチップ工法」に取り組む
平成17年 9月	中小企業経営革新事業 認定
平成17年 9月	特殊肥料生産業者 取得
平成18年 10月	堆肥チップの製造開始
平成19年 4月	堆肥チップの販売を本格的に開始予定